

中川正春の永田町かわら版

2005/8/11 第239号

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7 TEL:0593-73-3933/FAX:0593-74-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室 TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

○解散総選挙 9月11日投票

なんとも分けがわからないままに、解散総選挙となりました。自民党の崩壊にもつながる可能性があります。もともと限界がきていた組織が崩れるキッカケとしては、どんなことでも引き金になります。総選挙を私達は、堂々と受けてたつ思いです。

民主党は、三重4区(松阪市、久居市、一志郡、多気郡)の伊藤忠治議員の引退が決まり、急遽、新人候補で県議会議員の森本哲生氏の擁立を決定しました。彼は、私の県会時代の地盤を引き継いでくれた人でもあり、皆さんの絶大な信頼を勝ち得てきた県議でした。私の選挙区(三重2区)では、自民党の詳しい情報は入っていませんが、空白区のみで選挙はさせてくれないと思っています。

郵政民営化を舞台にした小泉さんと自民党の大立ち回りは、全くの田舎芝居です。私の主張は、「民営化は、必要。郵政だけではなく、社会全体にその流れは必然。しかし、今回の郵政法案は、郵政ぶっ壊し法案。中味の大混乱で、民営化という名に値しない。特に、郵貯と簡保資金は、役割が終わった。縮小廃止が正しい。法案では、全く逆の巨大な国営銀行を作ろうとしている。」

小泉体制の自民党に焼きが回ってきた。年金問題も放りっ放し、財政破綻に対しては、直ちに増税。靖国にこだわり続けて、アジアの国々から「総スキャン」を受けても平然としている。今回の選挙の争点は、「自民党政治の行き詰まりをリセットしよう。政権交代。」民主党は、議員年金の廃止も含めた年金の一元化をして持続可能な制度改革を主張します。国の財政破綻に対しては、増税ではなく行政の徹底したリストラと税の無駄遣いに対する見直しを先行。さらに、戦没者慰霊と追悼は、国家による追悼施設で行い、靖国にはこだわらない。アジアの国々との連携を大事にしながらか再構築します。アメリカも大事だが、言うべき事もしっかり言える、真のパートナーになること。

この国の基本と国際社会での生き様の選択肢を問うていく選挙にしなければと思っています。小泉さんの小手先の「話のすり替え」戦略に打ち勝って行きます。

○決起集会でこの国の基本議論

この国の基本を皆さんと一緒に確かめる集いを開催します。今この時代に民主党に何が問われているのか、また私の話を聴いていただいた上で、中川正春に何を期待するのか。選挙の出発に際して、どうか多くの皆さんのご参加をお待ちします。

四日市地域	日時	8月19日 午後 7 時
	場所	四日市文化会館第3ホール
鈴鹿地域	日時	8月20日 午後 7 時
	場所	鈴鹿市労働福祉会館 1階
亀山地域	日時	8月22日 午後 7 時
	場所	中央コミュニティセンター
楠地域	日時	8月23日 午後 7 時
	場所	楠福祉会館 2階

選挙事務所は、現在の鈴鹿市国分、中川事務所にプレハブ増設します。ボランティア、学生インターンの皆さんのお手伝い大歓迎です。選挙中の遊説など、ウグイスだけではなく、ヒバリやカラス(?)も味があっという間いじやないかと、今回も皆で手作りの選挙をお願いします。どうか、事務所に登録ください。

○体の準備もOK

娘にお膳立てされて、イヤイヤ胃カメラをのみに胃腸科クリニックに行きました。選挙を目前に心も体もサッパリしましょうということです。

初めての胃カメラ。待合室では、「もう帰ろう」と何度思ったことか。ベッドに横たわり、自分の胃の中を液晶大画面で見ながら、先生の説明をただ「うー、うー」と聴く。精神安定剤が効いてきて、なんとなくフワフワとした気分。ことは皆、夢のような一瞬でした。

全ての診察が終わったあと、先生は、「あなたは、ずいぶん健康です。お国のために頑張ってください。」とってくれたので、とても気をよくしています。